

「民政会」議会報告

私たち秦野市議会「民政会」は会派一丸となり、市民から負託を受けた行政のチェック機関として議会活動に取り組んでいます。
平成31年第一回定例会（3月予算議会）では、やひろ伸二議員が代表質問を行い、一般質問には、和田ひろゆき議員、諸星光議員が登壇しました。

市民による協働のまちづくりへ

やひろ伸二

■若年層が参加できる市民協働のまちづくりを
市長は「4駅周辺にのびのび創造」を掲げている。本市のまちづくりは、現状、各地区のまちづくり委員会が担っているが、これから

じる窓口を2019年度前半に設置する方針だ。」との答弁があった。県の保健所と市のこども館の複合化など県への相談を要望する。

■秦野赤十字病院の分娩業務再開と信頼回復を
分岐業務休止から4年

が経過し、市長は現状をどう考えているのか。また、妊婦が困らないよう行政に広域連携窓口を設けてほしいのか。

■30年度には大学医局と顔の見える関係を築き精力的に調整を行ってきた。今後も自ら先頭に立ち事態の打開に務めていく。また、現在、行政主導で「子育て世代包括支援センター」で市内の妊婦を適切な分娩施設に振り分けている。さらに、秦野赤十字病院でも妊

る関係を築き達成できるように取り組んでいきたい。
■教育委員会の組織強化で学力向上を
31年度は、教育委員会の組織強化で学力向上を行うようだが、何を行うのか。学力向上には、分ける授業・楽しい授業を実現することが不可欠である。指導主事が学校支援に専念し、指導・助言の充実を行う。また、教職員課の設置や指導主事の増員も行う。

■30年度には大学医局と顔の見える関係を築き精力的に調整を行ってきた。今後も自ら先頭に立ち事態の打開に務めていく。また、現在、行政主導で「子育て世代包括支援センター」で市内の妊婦を適切な分娩施設に振り分けている。さらに、秦野赤十字病院でも妊

る関係を築き達成できるように取り組んでいきたい。
■教育委員会の組織強化で学力向上を
31年度は、教育委員会の組織強化で学力向上を行うようだが、何を行うのか。学力向上には、分ける授業・楽しい授業を実現することが不可欠である。指導主事が学校支援に専念し、指導・助言の充実を行う。また、教職員課の設置や指導主事の増員も行う。



■はじめ不登校対策について
不登校の児童・生徒に対し家庭でも学習できるように、授業動画の配信をどう考えたいか。
■民間企業による家庭での学習時間の確保により、ボランテアによる宿題指導を行いたい。
■プレミアム付商品券について
工業出荷額の多くを占める輸送用機器や電機関係

■あそ 佳一 78-6477
■やひろ伸二 87-6224
shinji.yahiro@jcom.home.ne.jp
■和田ひろゆき 88-7897

皆様のご意見をお聞かせください。
■大野 祐司 26-6316
ANB50976@nifty.com
■諸星 光 88-4337

災害を想定した環境づくりを

和田 ひろゆき

■小中学校の体育館へのエアコン設置について
問 昨今、自然災害による被害が多く発生し、多くの方々が、小中学校の体育館での避難生活の映像を目にする。その光景は、夏は暑く、冬は寒い厳しい環境での避難生活である。
小中学校の体育館へのエアコン導入についての本市の検討状況はどのようか。
答 県外には、業務用のパツケージエアコンを体育館アリーナ部分に6〜10台設置する方式で1校当たり4千〜6千万円程度という事例もあるが、予想以上のランニングコスト増加に苦慮している。また、体育館に導入する場合、国庫補助率



和田ひろゆき

秦野市の魅力を生かして活力向上を

諸星 光

■公務員の副業（地域に飛び出す公務員）について
問 一人の地域住民として社会貢献活動・地域づくり活動に参画する公務員を支援する考えはどうか。
■渋沢地区のにぎわいつくりについて
問 丹沢は本市の最大の地域資源であり渋沢駅の北側に話題が集中し南側への意識は感じない。渋沢地区のにぎわいつくりはどうか。
■商店街店舗魅力アップ



諸星光

赤ちゃんが生れないまちは

消滅都市

あそ 佳一

秦野赤十字病院へ既に38億1,340万円の補助金が投入されている。分娩業務の再開、八木病院産婦人科開設に努めます。また、平成29年度の市内小中学校で、いじめ1,284件、不登校183人、暴力行為197件、児童虐待113件、薬物乱用者は推計全国200万人、市内でも検挙件数23件、若者の命を守りたい。本市の総借金は805億円、未収金は33億円です。公共施設の再配置、行政のスリム化、身を切る改革に全力で取り組みます。
そして、30年以内に発生する確率が82%、首都圏直下地震の経済的被害は約95兆円、死者は2万3千人



あそ佳一

は概ね6分の1となり、財政への負担も大きい。引き続き運用状況などを含め、さらに研究を進めたい。
■おしい秦野の水の販売拡大について
問 市民の利便性や本市の財産でもある名水アピールのため、もっと販売を拡大するべきと考えるが、現在の状況はどのようか。
答 現在、市内のコンビニエンスストア166店舗中約20%の店舗に取り扱ってもらっている。今後も、多くの販売店に取り扱ってもらうよう努めて行く。

野総合高校で出前講座の講義を行い積極的に語り合いました。